

講座名	ぐるーぼる・いしゆーず じんしんせい・わくせいげんかい・えすでいーじーずとちきゅうのみらい				
	グローバル・イシューズ 人新世・惑星限界・SDGsと地球の未来				
主担当 講師	しばさき あつし		駒澤大学 GMS学部 教授		
	芝崎 厚士				
概要	みなさんは、「グローバル・イシューズ」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。「地球規模問題群」と訳されることもありますが、今日本でも盛んに論じられ、実践されているSDGsもまた、その一つです。SDGsが持つ意義をより正確に、より深く理解するためには、相互に関係しているグローバル・イシューズの歴史的背景や基本的な概念を学ぶことが必要です。本講座は可能な限り最新の知見や研究動向に基づいて、グローバル・イシューズの基本的な考え方や文脈を平易に解説し、われわれのローカルな営みをグローバルな動きとつなげる手がかりを提供することを目的としています。				
回数	全 4 回	受講料	4,000 円	配信 期間	7月
講座 レベル	入門	定員	200 名	講座 形式	オンデマンド形式
第1回	タイトル	グローバル・イシューズとは何か 人新世・惑星限界と地球の未来 総論			
	担当講師	芝崎 厚士 (駒澤大学 GMS学部 教授)			
	内容	第1回ではグローバル・イシューズの全体像を紹介し、その背景にある21世紀前半における、世界に生きる我々が共通して持つべき問題意識を現した概念である「人新世」「惑星限界」について解説します。			
	配信期間	7月 1日 (金) ~ 7月 14日 (木)			
第2回	タイトル	グローバル・イシューズ1：人口			
	担当講師	芝崎 厚士 (駒澤大学 GMS学部 教授)			
	内容	第2回ではグローバル・イシューズという問題設定の大前提となる人間の「数」である、「人口」に関する基本的な考え方を扱います。歴史的な経緯、人口の増加・減少に対する取り組みなどが主題です。			
	配信期間	7月 8日 (金) ~ 7月 21日 (木)			
第3回	タイトル	グローバル・イシューズ2：食糧			
	担当講師	芝崎 厚士 (駒澤大学 GMS学部 教授)			
	内容	第3回では、同じく人間を規定する要因としての「食糧」に焦点を当てます。人類史的な視座からの食糧をめぐる取り組みから飢餓・肥満・フードロスなど多種多様な切り口を扱います。			
	配信期間	7月 15日 (金) ~ 7月 28日 (木)			
第4回	タイトル	グローバル・イシューズ3：持続可能性とSDGs			
	担当講師	芝崎 厚士 (駒澤大学 GMS学部 教授)			
	内容	第4回では、グローバル・イシューズの最重要のキーワードである持続可能性(sustainability)という概念の成立過程とMDGsそしてSDGsに至るグローバルな取り組みについて扱います。			
	配信期間	7月 22日 (金) ~ 8月 4日 (木)			
参考文献	毎回資料を提供し、参考資料・URLをお知らせします。全体にわたる文献としては、J.ロックストローム、M.クロム、武内和彦、石井菜穂子監修、谷淳也、森秀行訳『小さな地球の大きな世界 プラネタリー・バウンダリーと持続可能な開発』丸善出版、2018年とロックストローム、ガフニー、戸田早紀訳『地球の限界』河出書房新社、2022年があります。				
受講にあたっての留意点	特別な予備知識、事前の準備は一切必要ありません。それぞれの回に用意されている、テキストやリンク先のさまざまなメディアを受講前・受講後に読んだり、視聴したりしていただくことは内容の理解の助けになりますが、必須ではありませんので、リラックスして受講していただければ幸いです。				